

はまなすの実

— 第14号 —

平成18年2月20日

北海道文教大学同窓会
「つるの会」

恵庭市黄金町196番地1

北海道文教大学内
TEL・FAX (0123) 34-2515

「活きた同窓会を夢見て」

北海道文教大学同窓会

「つるの会」会長 北崎 迪子

厳寒の候を迎えておりますが全国各地においでの方の皆様には益々ご壮健にてご活躍のことと拝察申し上げます。日頃は同窓会の活動にご支援、ご協力を頂き有難うございます。

さて、前年に続き北海道を含め大変暑い夏となった平成17年も国内外では自然災害、戦争やテロ、底のなかなか見えない不況と暗いニュースの多い一年でありました。又、日本にとって昨年とは戦後60年という節目の年でもありました。私事で恐縮ですが私自身もこの夏は溶けるように暑かった広島に於て体験した原爆の恐ろしさを再び噛みしめ、何故世界は平和に向かって共に手を携えて歩けないのか、人は何故心の平静を取り戻せないのだろうかと思いを過ごした一年になりましたが皆様にとってはどんな一年でしたでしょうか。とはいえ幸いな事に降りしきる雪に清められ静かに年が明けたことを喜んでおります。

さて、皆様も新聞等でご承知かと思いますが母校に新しく「理学療学科」が本年4月をもって開設されます。北海道の大学では初めてということで大変期待されての開設と伺っています。少子化の厳しい中であって「時代のニーズを受け、広く国際社会に羽ばたける人材育成」を目指し隆盛を続けている学園から毎年若い、次世代を担うエネルギーに満ちた仲間を迎えておりますが同窓会の活動自体は決して盛んとはいえない状況にあり、ここ数年はいかに同窓会を活性化するかということが大きなテーマになっておりました。事業の中でも名簿の整理、支部の細分化、ホームページの充実など活性化に貢献出来ると思われる部分に精力を尽くしてきた結果11月には支部長会を開くことが出来、一歩進んだのではないかと考えています。又、17年度は帯広、函館、旭川の3地区に於いて「父母・

同窓生懇談会」という催しを大学と協力して行う機会があり、来年度以降も実施される予定という事なので、支部会として活用することにより普段同窓会に出席して頂くのが難しい札幌から離れた地域の会員の皆様と同窓会との交流を密接にしていく良いチャンスになるのではないかと期待しております。

生活の多様化もあってか会員同士の結びつきが希薄になりつつある昨今ではありますが「会員相互の親睦を図る」という目的で活動している同窓会に多くの会員の皆様が参加して下さる事を心から願っております。「ホームページ」も大変充実しておりますから是非開いて見て頂きたいとお奨めすると共にどしどし情報、近況などお寄せいただければ幸いです。そこから又活動が広まる縁になるのではと信じておりますので。

各分野、各地域で活躍される皆様と共に「母校の発展」を陰から支える同窓会を築き上げて行くことを願いつつ歩みを続けていきたいと願っておりますが年々減り続ける18歳人口に歯止めをかけることは難しい事のように思われます。しかし母校の熱情を感じてやる気のある若者をどしどし母校に送り出して頂きたいとお願い申し上げます。

電話、ファックス、ホームページを活用されて積極的に同窓会に参加されると共に、来る3月18日に開催される同窓会には是非ご出席下さい。本年も新卒生を迎えて「入会式」を行い、共に懇親会を楽しんで頂く予定になっております。

最後になりましたが、母校の発展と会員の皆様のますますのご健康とご多幸をお祈り致します。

学園生活を支える「三位一体」



鶴岡学園理事長
北海道文教大学学長
北海道文教大学短期大学部学長

鈴木武夫

小泉首相の改革の旗印として使われることによって広く人口に膾炙(かいしゃ)することになったのが、この「三位一体」という言葉であります。本来の意味は、キリスト教において使用される、英語でいうならば「theTrinity」の訳語で、創造主としての父なる神と、贖罪者キリストとして世に現れた子なる神と、信仰経験に顕示された聖霊なる神とが、唯一なる神の位格であるとする説に立つ言葉です。転じて現代にあつては、三つの要素が互いに結びついて、本質においては三者が協力して一体になって作用することをさす意味となっております。

このような事柄でお話を始めましたのは、3年前から開催されておりました本学の父母懇談会を、今年度から同窓会の皆様の全面的なご協力をいただきまして、全道5箇所(9月3日帯広・9月10日函館・10月1日旭川・10月9日恵庭・10月22日札幌)の各会場で同窓会と同時開催することによって内容を充実させていただき、参加者数も増加し、内容面でも昨年を大きく上回るご好評をいただいたということがあるからです。

学生を成長させ能力を開発し社会に貢献できる人材とするためには、父母保護者の皆様と、私ども学園教職員に加えて、同窓生の皆様の三位一体の協力と支援が必要不可欠と考えるところにその発想の基点があることによるものであります。

平成18年度4月からは大学の人間科学部に理学療法

学科が認可され新設されます。医療分野では先に栄養指導や病院給食の面で職域を開拓してくださっているたくさんの方々がいらっしゃいます。今後ともそのご経験と知恵と力量を後輩にお貸しいただく場面も多々あるかと存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

また、同窓会「つるの会」からは前年度に引き続き「同窓生の卒後教育及び現役学生の研修」を目的として、大学・短期大学部の5学科に対しまして合計50万円の研修助成をいただきました。皆様の心温まるご厚志を計画的にかつ効果的に使わせていただきたく思います。心からお礼申し上げます。

政府の「三位一体の改革」に負けず劣らず、学園運営も明確な展望のもとに改革発展を進めていかなければなりません。理事会におきましては、18年度以降の展望といたしまして、①人間科学部の大学院設置、②国際交流会館の建設、③作業療法学科増設または理学療法学科の定員増、④本部棟の建設等につきまして、検討を進めております。学園運営は一時の解怠(けたい)も許されません。学園理事者教職員一同、学園の発展充実に一意専心取り組む所存であります。

同窓生の皆様におかれましても、母校の発展充実に一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。皆様のご健勝と社会の各方面でのご活躍を心から祈念申し上げます。

父母・同窓生懇談会に出席して

渡辺健司(専5)

「今、大学・短大に通っている学生の父母を対象にした懇談会(父母・同窓生懇談会)が旭川で開催されるので、同窓生として出席して!」と副会長に頼まれ、断ることが苦手な私は断り切れず(断る理由がなかった)北崎会長と共に出席してきました。

平成17年10月1日(土)旭川グランドホテルを会場に、大学の先生による公開講座から始まり、学生生活の説明、父母との懇談会と進められ、その中で私からは就職についての状況や、管理栄養士国家試験の合格状況等について、役不足と思いつつほんの少しの時間、お話しさせていただきました。話のシメに同窓会「つるの会」のPR(これが大きな狙いだったりする)も忘れずにしてきた次第です。

同窓生がこのような場でお話しさせていただくことにより、卒業後にどのようなところで働いているのか、「つるの会」ではどのような活動をしているのかなどを保護者の方々へ周知でき、同窓会活動の理解が深められることから、これを読んでいる同窓生の皆さま、今後開催する折には是非とも出席いただき、近況報告などをしていただくと共に、「つるの会」発展のために同窓生同士の絆を強めていただければと思います。



卒業生を祝う会



幼児保育学科 2年 森野大樹

「大学と短大が初めて合同で行った「卒業生を祝う会」では、大学教職員や父母、更に同窓生も参加して卒業生を祝いました。文教大学卒業生としての誇りをもって社会で活躍していく上で、互いを尊敬し、助け合うつながりとなる同窓会は、卒業生にとって大変心強い存在であると感じました。」

人間科学部健康栄養学科 3年 田畑美幸

「初めての大学・短大合同の卒業生を祝う会は盛大に行うことができました。時間や人数の関係から十分な準備ができませんでした。多くの方々の手を借り無事に終えることができました。今後、さらに良いものとなるよう期待しています。」

「北海道社会貢献賞を頂いて」

食物栄養科3期卒 後藤田 倫子



短大を卒業してこのオホーツクの地で栄養士として働き始めて早40年になりました。病院栄養士を3年その後北見の福祉施設に勤めて現在に至っています。

一昨年北見保健所の推薦を頂き食生活改善功労者として北海道社会貢献賞を拝受しました。思いがけないことでした。地域への栄養改善などの活動が認められたようです。一緒に活動してきた仲間達に心からお礼を申し上げたいと思います。支部栄養士会が設立されて50年を迎えました。10年目から関わり幼児・高校生・主婦・サラリーマン・老人などへの食生活調査を始めとして10年間に渡り管内市町村での栄養展の開催、講演会・料理講習などを実施してきました。現在も継続し

て実施しているものも有りますがここ15年くらいで随分地域活動と一緒に動いてくれる栄養士達が少なくなりました。戦後の食糧難の時代に栄養士の先輩達は米軍からの食料をただ配給するだけでなく日本全国キッチンカーで料理講習を開き各家庭に中華鍋やフライパンを普及させ乳製品や卵、油等の摂取普及に努めた歴史があります。そのことが日本食の欧米化に荷担したとの批判もありますがあの時代に栄養失調を改善し体格を欧米人並みに引き上げ平均寿命をのばした諸先輩の栄養士達の活躍は時代に即していたと思うのです。

しかし、今、何故飽食の時代の日本人を私達栄養士が健康に出来ないのでしょうか。施策、教育養成等々色々要因はあると思いますが、原点として何のために栄養士が必要なのか栄養士の役割は何を目的としているのかそんなことを考えながらこれからもあがき続けたいと思うのです。

「つるの会ホームページをご覧下さい」

北海道文教大学同窓会「つるの会」副会長
(ホームページおよび会報委員会)

小松 信 隆

会員の皆様、「つるの会」のホームページはご覧になりましたでしょうか？

昨年のリニューアルより、掲示板や求人情報のページも新設し充実したホームページを目指しております。また、住所変更届けもメールフォーム化し、オンラインでより手軽に変更届けの送信が可能となりました。

昨年のリニューアルより、なかなか更新が出来ずおりましたが、来年度から年4回の更新を目標にしたいと考えておりますので、会員の皆様の身近にある情報等をお寄せいただければ幸いです。ホームページに対するご意見、ご感想も随時募集しておりますので、よろしくお願い致します。

当ホームページは会員の皆様の情報交換の場にしていただければと考えております。ぜひ一度、「つるの会」のホームページをご覧ください。



ホームページURL <http://www.tsurunokai.ecweb.jp>
メールアドレス webmaster@tsurunokai.ecweb.jp

ROAD TO 管理栄養士

北海道文教大学短期大学部
食物栄養学科 平成15年卒

伊丹 悠

私が短大を卒業して早3年が経とうとしています。そしてこんな私も今では、病院で管理栄養士として働いています。そこで、短大当時はどちらかと言うと劣等性だった、私の『管理栄養士への道』を紹介します。

私の勉強方法は、問題に慣れるため、過去5年分の過去問集と基礎がわかりやすく書かれている参考書と、解説が細かく書かれている問題集の3冊を使いました。あとは自分で単語帳を作り、常に試験を意識できるようにしました。そして私の管理栄養士合格の一番の秘訣は、病院での仕事にあったと感じています。なぜなら、仕事をするのが試験勉強につながったからです。なので、仕事自体を勉強に繋げることができれば試験勉強もはかどるのではないのでしょうか。

管理栄養士への道は、絶対受かると言う気持ちと根気です。あとは管理栄養士になって自分は何がしたいのかと言う、具体的な目標があること。そうすれば、管理栄養士も近い将来になると思います。

大学祭で2度目の

健康相談コーナー開設

北海道文教大学短期大学部
食物栄養学科平成12年卒

工藤 鉄也

平成17年10月8日、9日、文教大学大学祭が開催され、つるの会から、昨年に引き続き健康相談コーナーを開設しました。昨年度の参加者を中心に今年も同窓生の協力によって、2日間で100名以上の方の相談に応じることができました。

健康相談コーナーは昨年に引き続き、関係各位の協力で身体計測3種（体脂肪測定、血圧測定、血糖測定（ARKRAY））、健康相談の問診、アイス（グリコ）・ドリンク（大塚）コーナーを設けることができました。また、学校側の取り計らいで、昨年と同じ玄関から入ってすぐのロビーに、スペースを確保していただきまして、誰の目にも留まる絶好の場所での開催となりました。

来てくださった方にはまず、身体計測を希望者に実施、問診表に記入をお願いし、その後相談に応じ、相談終了後に、アイス・ドリンクをお渡しする、という



昨年とほぼ同様の内容で健康相談を執り行いました。相談内容は来る方々の年齢層が様々なこともあり多岐にわたり、食生活のことが中心ではありましたが、運動のこと、痩せるためには、サプリメントのこと等々、相談員の同窓生にとっては、噛み応えのある問答が次々とやってきました。一人暮らしの学生の中には、生活そのものの改善の相談に応じることがあったりもしましたが、健康ということには、年齢層に関係なく皆さん、何かしらの関心があるのでしょうか、一つの質問から次々に話が広がり、制限時間を設けていなかったため、次に待っている方がいないときには、相談が1時間におよぶことがあったりもしました。体脂肪、血圧を測定した方には、正常な値と測定結果を比べて、その解説を行いました。多くの方が好ましい測定結果で、一応に安心した様子が窺えました。一方、血糖を測定した方の血糖値は様々で、食後何時間かを確認し、測定結果の説明と食べることと血糖の関係の説明なども行い、測定結果が意味していることの正確な情報の伝達に努め、一般の方には健康寿命に貢献し、学生には学習の機会にと、役立てたと思っております。来訪者の中には昨年からのリピーターや2日間連続で来る方もいたり、健康相談コーナーがそのような形で評価されているのかと、感じ取れたりもしました。





た。

本年も昨年に引き続き多くの方々に来ていただき、来年の開催を楽しみに待っている方もいらっしゃると思っております。多くの方に満足していただけるよう役員としては、十分な準備を持って望む次第ではありますが、そのためにはスタッフの増員が不可欠かと考えておりますので、協力していただける同窓生を広く募集いたします。学部を問わず卒業生の協力があれば、ますます充実した内容になると思いますので、協力してくださる同窓生の方は、ホームページの掲示板に書き込むか、ご一報いただけますようお願いいたします。協力してくださった、学校関係者、同窓生、各企業にこの場をお借りして、深謝申し上げます。

支部長会議開催

大学の管理栄養士国家試験準備講習会に参加した同窓生と共に懇親会を行いました。



平成16年度決算

自 平成16年3月1日
至 平成17年2月末日

科目	予算	決算	備考
前年度繰越会費	12,839,758 5,935,000	12,839,758 6,261,000	短大 16年度 133名×15,000円=1,995,000円 大学 16年度 210名×20,000円=4,200,000円
利息収入	1,000	3,198	普通預金利息 170円 定期預金利息 3,028円
名簿代	8,000	0	
計	20,779,758	19,103,956	

平成17年度予算

自 平成17年3月1日
至 平成18年2月末日

科目	予算	備考
前年度繰越会費	9,364,458 4,965,000	短大 131名×15,000円=1,965,000円 大学 150名×20,000円=3,000,000円
利息収入	3,000	普通預金利息・定期預金利息
計	14,332,458	

支出の部 (単位：円)

科目	予算	決算	備考
総会及び懇親会 卒業記念品費	2,500,000 493,500	241,304 751,275	ビンゴ景品代・お菓子・飲み物・お花代 477名×1,500円(消費税35,775円)
印刷費 通信費	1,500,000 1,500,000	532,745 947,114	会報印刷・返信葉書印刷・封筒印刷 電話代・切手代・会報発送・BIGLOBE使用料
事務消耗品費	300,000	139,528	事務用品・シュレッダー・コピー用紙
会議費 交通費	500,000 500,000	279,081 581,220	役員会・委員会(会報及びホームページ) 役員会・委員会(会報及びホームページ)
アルバイト料 名簿整理費	250,000 200,000	212,432 524,799	事務の整理 HP制作費及びDB制作費・デスクトップパソコン
研修費 予備費	600,000 50,000	530,000 0	講演会(土倉先生)・パイプテント5張
基本金積立 次年度繰越金	5,000,000 7,386,258	5,000,000 9,364,458	
計	20,779,258	19,103,956	

支出の部 (単位：円)

科目	予算	備考
総会及び懇親会 卒業記念品費	2,000,000 515,025	会場代・ビンゴ景品代・お祝いパーティー 327名×1,500円(消費税24,525円)
印刷費 通信費	1,000,000 1,500,000	会報印刷・出欠葉書印刷・封筒印刷 電話代・切手代・会報送料金
事務消耗品費	300,000	事務用品
会議費 交通費	500,000 1,000,000	役員会・委員会(会報及びホームページ)・支部長会 役員会・委員会(会報及びホームページ)・支部長会
アルバイト料 名簿整理費	250,000 300,000	事務の整理 ホームページ及びデータベース管理
研修費 予備費	800,000 100,000	講演会・講習会・各学部、各学科への助成金 大学祭出展
基本金積立 次年度繰越金	4,000,000 2,067,433	
計	14,332,458	

平成16年度事業報告並びに平成17年度事業経過報告

- 同窓会名簿の整理
ホームページを充実させることにより一層名簿整理の充実を図りたい
- 卒業生への記念品 印鑑付きボールペン
- 同窓会総会及び卒業生を祝う会の開催
3月19日(土)札幌パークホテル PM4:00~総会
PM5:00~卒業生を祝う会
- 会報の発行(会報及びホームページ委員の活動について)
会報「はまなすの実」14号発行 ホームページの充実
- 支部の充実
11月19日支部長会議を開催 於 えにわステーションホテル
- 各学部・幼児保育学科への助成金(パイプテント5張寄贈)
- 大学祭出展(大学祭にて健康相談コーナーを開設)
- その他

基金造成について

協力者 161名 一金 3,785,060円

平成18年1月末日現在 ご協力ありがとうございました。

「平成17年度同窓会総会および懇親会」のご案内

下記の日程で平成17年度同窓会総会を後援会、学友会（大学）、学生会（短期大学部）との共同開催で「卒業生を祝う会および同窓会入会式」を行います。

これから同窓会に入会する卒業生との懇親の場として、益々の同窓会と母校の発展のために企画致しました。多数の出席をお待ちしております。

日時・場所

平成18年 3月18日(土)

札幌パークホテル(札幌市中央区南10条西3丁目 TEL011-511-3131)

同窓会総会 16:00～ 4階「清流」

卒業生を祝う会および同窓会入会式 17:00～ 地下2階「パークプラザ」

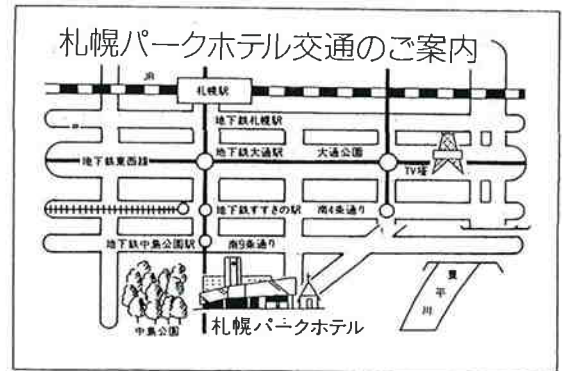
平成17年度卒業生、父母、諸先生、同窓会会員

参加費 無料

申込み 会報同封の葉書またはメール

(webmaster@tsurunokai.ecweb.jp)
でお申込みください。

締切 り：平成18年 3月10日(金) 必着



個人情報の取り扱いについて

当会における会員の皆様の個人情報は①会報の発送、②同窓会総会、支部総会の案内および名簿作成、以外に使用することはございません。なお、ご意見やご要望がありましたら事務局までお問い合わせください。

編集後記

今回の会報は、新しい試みの活動を紹介させていただきました。大学側との協賛で「卒業を祝う会」や地方での研修と懇談会の開催、また昨年に引き続き大学祭への参加などの活動をしました。若い同窓生が毎年増え、もう少し同窓会に目を向けていただく機会が増えると良いと思います。同窓会室は恵庭キャンパスに移りましたが、在学生と同窓生がより身近に感じられるような活動を今後も会報でお伝えしていきたいと考えています。このような活動だったら自分も参加でき

るかもしれないというものがあれば、同窓会へお声がけをしていただければありがたいです。

毎年、総会のご案内もしておりますが、あわせて「卒業生を祝う会」では、若い同窓生や懐かしい諸先生にもお会いできることと思います。是非、たくさんの参加をお待ちしております。

皆さんの「つるの会」がさらに充実し身近な活動として発展していくことを願っております。

(田中律子 記)

同窓会事務局 〒061-1408

(恵庭市黄金町196番地1・北海道文教大学内)

住所変更、氏名等変更の変更の場合はご連絡下さい。

直通専用電話

FAX (0123) 34-2515番

会報及びホームページ委員

北崎 迪子(食3) 後藤田 倫子(食3)

小松 信隆(専5) 松木 寛美(幼17)

田中 律子(食12) 槌本 浩司(食26)

工藤 鉄也(食37) 黒澤 佳奈子(日本)